

# 特別展

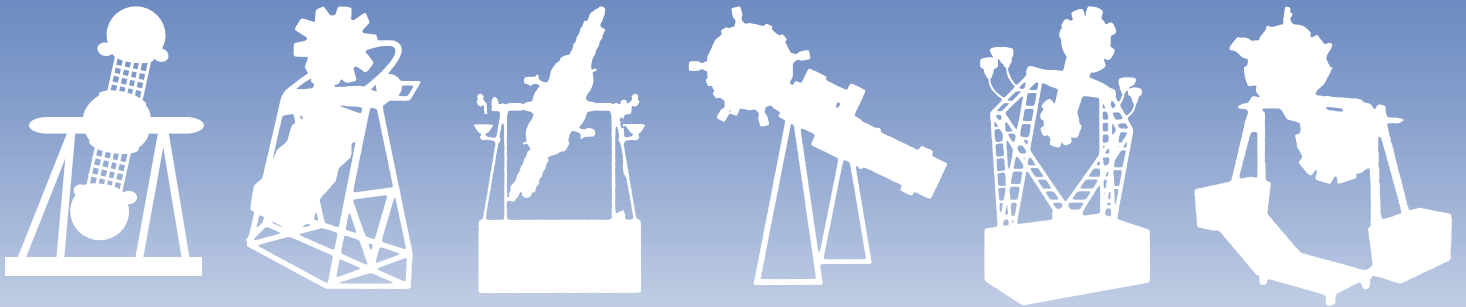
# 日本のプラネタリウム 「はじめの1歩」展

～プラネタリウムメーカー、それぞれの黎明期～

2017年3月1日(水)～4月16日(日)

明石市立天文科学館・3階特別展示室

日本にあるプラネタリウムのほとんどは、天文科学館のようなドイツ製ではなく日本製です。中には、既に製作していないメーカーや、試作機として1～2台だけ製作したメーカーもあります。本特別展では、そんなプラネタリウム投影機の実物資料や写真で紹介し、国産プラネタリウムのそれぞれの黎明期にスポットライトをあてます。



資料提供・協力:

愛知県東栄町(東栄町森林体験交流センター スターフォーレスト御園)、伊丹市立こども文化科学館、大阪市立科学館、有限会社 大平技研、上玉利 剛、国立大学法人 京都大学大学院理学研究科附属天文台 花山天文台、倉敷科学センター、黒部市吉田科学館、株式会社 五藤光学研究所、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、千葉県立現代産業科学館、公益財団法人 津山社会教育文化財団(つやま自然のふしぎ館)、国立大学法人 東京海洋大学、東京都杉並区教育委員会 生涯学習推進課(杉並区立科学館)、株式会社 西村製作所、日本プラネタリウム協議会「日本のプラネタリウム史ワーキンググループ」、浜松科学館、プラネターリウム 銀座座、和歌山市立こども科学館

## 特別展プレミアム講演会「日本のプラネタリウムの黎明」

【内容】日本のプラネタリウムの歴史についての講演等  
【日時】3月18日(土) 19:00～21:00(受付18:30～)  
【場所】2階プラネタリウムドーム

【定員】先着250名  
【参加費】300円(駐車料金:別途200円)  
【参加方法】事前申し込み  
(電話または館HPより前日17時までにお申し込みください。)

### 【講師】

「ツァイスプラネタリウムと日本」 「ミノルタプラネタリウムの黎明」 「五藤光学研究所のプラネタリウムの黎明」 「日本のプラネタリウムはじめの1歩」



東京大学名誉教授  
工藤 章

東京大学社会科学研究所教授などを  
経て2010年3月同  
大学定年退職、東  
京大学名誉教授。専門は社会科学。  
アジアとドイツの関係の調査の  
過程で、カールツァイスのプラネ  
タリウムが日本に導入された経緯  
に関心を持つ。



コニカミノルタプラ  
ネタリウム(株)  
鈴木 孝男

縁日の屋台で購入  
した小さなガリレ  
オ式の望遠鏡で月  
を見て感激し、天文に興味を持つ。  
1973年に株式会社ミノルタ  
プラネタリウム(現コニカミノ  
ルタプラネタリウム)に入社。プ  
ラネタリウムの開発に携わる。



元(株)五藤光学研  
究所  
児玉 光義

小学校4年生の頃  
から星に興味を持  
ち、6年生の時に  
シングルレンズの、中学生の時に  
アクロマートの天体望遠鏡を作る。  
その後、1963年に株式会社  
五藤光学研究所に入社。プラネ  
タリウムの開発に携わる。



天文科学館館長  
長尾 高明

明石市立天文科学  
館館長。1989年よ  
り明石市立天文科  
学館の技師として  
プラネタリウムのメンテナンス  
に携わる。2011年より同館館  
長。プラネタリウム33か所巡り  
の発案などプラネタリウムの機  
械を見る楽しみを世に広める。